

環境工学本委員会 音環境小委員会 音響数値解析 WG
第 6 回委員会 議事録

日時：平成 16 年 2 月 27 日（金）16:30～18:30

場所：大分大学工学部福祉環境工学科棟

出席者（11 名，敬称略）：

大鶴徹（主査），佐久間哲哉（以上幹事），池田雅弘，大嶋拓也，河井康人，鮫島俊哉，富来礼次，堀之内吉成，安田洋介，横田考俊（以上委員），榎本貴之（オブザーバー）

書記：安田洋介

配布資料（14 部）：

資料 6-1：第 6 回委員会議事次第（大鶴）

資料 6-2：第 5 回議事録（案）（安田）

資料 6-3：大分大学 WS 運用状況（富来）

資料 6-4：ベンチマーク問題に関する報告：球体（鮫島）

資料 6-5：ベンチマーク問題に関する報告：小ホール（+ICA, RADS 梗概）（横田）

資料 6-6：ベンチマーク問題に関する報告：残響室（富来）

資料 6-7：ベンチマーク問題に関する報告：平板（榎本）

資料 6-8：ベンチマーク問題に関する報告：スピーカー（池田）

資料 6-9：ベンチマーク問題に関する報告：球体（大嶋）

資料 6-10：ベンチマーク問題に関する報告：音響拡散体（安田）

資料 6-11：ICA 梗概（佐久間）

資料 6-12：RADS 梗概（大鶴）

資料 6-13：TC-CA ホームページ（佐久間）

資料 6-14：2003 年度 委員会活動成果報告（大鶴）

● 議事概要

0. 開会にあたって

- ・ 配布資料の確認
- ・ 前回（第 5 回）議事録（資料 6-2）の承認

1. 大分大 WS 運用状況（富来）

富来委員より大分大 WS の運用状況に関する説明（資料 6-3）。ユーザー名，パスワード，コンパイラに関する報告がなされた。C++コンパイラについては次回の報告となった。

2. ベンチマーク問題に関する報告

解析結果の報告，及びそれに対する議論が行われた．報告があった問題，及び特記事項は以下のとおり．

- ・ A0-3F：球体（資料 6-4・鮫島）
- ・ A0-4F：球体（資料 6-4・鮫島，資料 6-9・大嶋）
- ・ A0-5F：平板（資料 6-7・榎本）
 - ・ 設定された板のサイズが大きく現実的でないため，A0-5F（平板），A1-2F（音響拡散体）については現サイズの 1/4 とする．
- ・ A1-2F：音響拡散体（資料 6-10・安田）
- ・ B1-1T：小ホール（資料 6-5・横田）
 - ・ 時間領域解析における音源の周波数特性の取り扱いについては，特段の補正を行わないこととし，フェイスシートに音源の周波数特性を明記するものとする．
 - ・ サンプリング周波数は 8 kHz を基本とするが，これと異なる場合でも違いを明記した上でそのまま掲載可とする．
 - ・ 本ホールに関して，論文等でその座標データを利用する者，並びに解析を行う者は，別刷りを熊谷組・大脇氏に送付することとする．また，ホームページ管理者はその旨をホームページ上に明記する．
 - ・ 音圧分布の問題についても作成する必要がある．
- ・ B1-3F：残響室（資料 6-6・富来）
- ・ スピーカー（資料 6-8・池田）
 - ・ 単純形状（コーン部の振動が加速度 1.0），複雑形状（コーン部の振動が加速度 1.0 のもの，実測に基づくものの 2 種）の計 3 種を設ける予定．
 - ・ ポーラーパターンについては，オクターブバンド中心周波数による単一周波数での解析結果を基本とし，オクターブバンドでの実測結果及び解析結果についてはその旨明記した上で掲載する．

問題群全体に関わるコメントは以下のとおり．

- ・ ベンチマーク問題の総量が増加すると，目的としている比較自体が疎かになる恐れがあることから，あまり増やすべきでない．
- ・ 問題が新設されるたびに既存問題の番号（A0-3～など）が更新されるのは問題である．枝番をふるなど，番号の付け方に配慮する必要がある．

3. ICA2004&RADS2004 発表内容報告

大鶴主査（資料 6-12），佐久間幹事（資料 6-11），横田委員（資料 6-5）から，ICA，RADS

の梗概の紹介があった。

4. Web サイトについて

決定事項は以下のとおり。

- URL に不適切な文字列があることから、これを変更することとする。但し当面は旧 URL からのリンクをはる。
- Round Robin Test という名称はやや不適切であることから、今後名称の変更について検討する。
- 現在 EAA の TC-CA のホームページからはられている旧ページへのリンクを ICA 開催までに現ページのものへと更新するようお願いする必要がある。
- Web 上に提供されたデータの著作権については、「提供者は放棄したものと見なす」旨をホームページ上に掲載することとし、以後そのように扱う。論文等で利用する場合は、提供者の氏名を明記する。
- 議事録については PDF 化しホームページ上に掲載することとする。

5. 次年度（平成 16 年度）の計画

大鶴主査より今年度の活動成果報告（資料 6-14）について説明がなされた後、次年度の活動計画について議論がなされた。シンポジウム開催、外国研究者の招待などが主な議題となった。

6. その他

次回（第 7 回）委員会日程

日時：5 月あたりを予定。詳細は後日メーリングリストにて議論。

場所：後日メーリングリストにて議論。

以上。